



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2014.3.10
第1467号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを 皆の力で」
「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

職場で安全問題・労働条件改善の闘いの強化を

＝春闘、組織拡大、被災線区の早期復旧に全力＝

第124回拡大 地方委員会



意思統一を図った拡大地方委員会・リリオ会議室

地方本部は、第124回拡大地方委員会を2月23日に盛岡市のリリオで委員・特別委員・分会代表・地方本部役員ら約60人が参加する中で開催した。

委員会で、職場実態、2014春闘、被災線区復旧、組織拡大などについて討論。①職場実態、労働条件の改善は、安全安定輸送の確立と技術継承を含め進める②春闘は集会などを開催し賃物の厳しい実態の改善も含め闘っていく③被災線区復旧は世論の動向を見ながら早期復旧の運動を進める④組織拡大は、一人ひとりが拡大する決意を固め実践していくことなどを意思統一した。

同時に危険な方向に舵を取る現政権に国民本位の政治を求め、組織内候補の立候補する7月と10月の花巻・青森市議選をはじめ自治体選挙や反原発の闘いの強化も確認した。

委員・機関代表60人が参加

工藤誠議長(野辺地三沢)で進行

委員会は11時10分小林副委員長の開会あいさつ、地方委員13人中12人の出席の報告し、委員会の成立を宣言、議長に野辺地三沢地域分会の工藤誠委員を選出し、あいさつを受け進められた。

最初に地方執行委員会を代表し佐々木委員長があいさつ。(要旨別掲)

次に来賓の阿部一男花巻市議会議長、阿部哲巳平和環境岩手県センター議長代行(全)

討論では、10人の委員(特別委員、分会代表含む)から職場の労働条件、技術継承、エルダー社員、2014春闘、花巻・青森市議選立候補予定の組織内選挙、組織拡大、震災に伴う復旧問題などで発言があり、執行部の中間答弁と沢田書記長の集約答弁を受け、当面の運動方針が全体の拍手で承認された。

佐々木委員長あいさつ(要旨)

2014年春闘は山場をかえています。4月からの消費税増税や社会保障の切り捨てで勤労者の生活は一層苦しくなります。日本経済を再生



当面の主な日程

- ▽3月15日(盛岡) 地方運輸協議会職場実態交流会
- ▽3月15日(東京) 全国アスベスト学習会
- ▽3月23日(青森)

- ▽4月5日(盛岡) 青森支部組織対策会議
- ▽4月5日(盛岡) 第14回地方電気協議会定期委員会
- ▽4月5日(青森) 「反核燃の日」青森県集会
- ▽4月14日(盛岡) 第7回地方本部執行委員会

方針討論

職場実態、安全・安定輸送 貨物問題などで10人が発言

方針討論の発言要旨は次の通り。

◎野坂均委員 (青森運輸区分会)

▽エルダー対象者への支社対応が悪い、配属先の職場の連絡などが遅い。

▽青森市議選選挙、斎藤憲雄氏5期目に挑戦、出身分会として闘うが厳しい選挙支援を

お願いしたい。

◎大平四郎特別委員 (工務協議会代表)

▽危険な道、戦争のできる国に進もうとしている政治情勢、しっかりと反対し、春闘と結合し闘っていく。

▽あわや事故という現場での事実が多い。メンテから13年直轄・パートナー会社との確認事項を守られていない。守



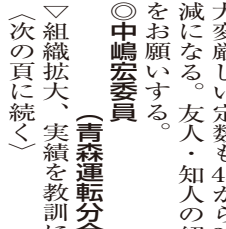
野坂均委員 (青森運輸区分会)



大平四郎特別委員 (工務協議会代表)



阿部一男 (花巻市議会議員)



斎藤憲雄 (青森市議会議員)

選挙への協力要請と決意 阿部一男、斎藤憲雄市議会議員

7月に施行予定の花巻市議会議員選挙(定数26)に立候補予定の阿部一男氏と10月施行予定の青森市議会議員選挙(定数35)に立候補を予定の斎藤憲雄氏も委員会に参加、



阿部一男 (花巻市議会議員)



斎藤憲雄 (青森市議会議員)

「住民本位の暮らしと政治を進めていく。支援をお願いする」と決意を述べた。両氏とも社民党公認で阿部氏が10期目、斎藤氏が5期目の議席確保を目指している。

◎加藤寿委員 (八戸貨物分会)

▽事故関係で転勤の組合員がいるが、元職場に戻す闘いを。春闘の闘い、皆と共に闘っていく。

▽青森市議選選挙、斎藤憲雄氏大変厳しい定数も45から35に減になる。友人・知人の紹介をお願いする。

◎中嶋宏委員 (青森運輸分会)

▽組織拡大、実績を教訓に今(次の頁に続く)

法」の強行採決や靖国神社への参拝を強行し「戦争のできる国」から「戦争をする国」へと突き進んでいます。私たちが国の政治を変えるため、国政選挙の準備として地方選挙をしっかりと闘い、推薦候補者をもとより花巻、青森市議会議員選挙での阿部一男さん、斎藤憲雄さんの組織内候補者を当選させるため全機関が一丸となって取り組むよう要請します。

労働組合の社会的責任は、安全・安定輸送の確立・利用

者へのサービス向上と公共交通を守る運動、全ての労働者のため、会社と対峙し施策に対するチェック機能を果たし、技術の継承と人材育成が求められます。職場に差別が横行し、人間関係が壊れれば安全も安定輸送もままなりません。国労という組織と運動を若い世代に引き継ぎ、数年先を見据えた議論と取り組みが必要

ていこう

今冬の青森市の積雪は平年並みとなったが、この数年豪雪が続いたせいかとても寒く、雪国では、雪のせいで隣人とのトラブルが絶えることがない。だから、トラブルを避けるために自分の家の雪かきに一生懸命にならざるを得ない。それは、長年の生活の中で培われた地域社会で生きるための一定のルールである。屋根に積もった雪や庭の雪、そして玄関先の雪を捨てる場所の配慮も必要である。そうすることで、その地域社会における秩序は保たれている。ところが、この国はどうだろうか？ 国のトップ自ら隣国の忌み嫌う行為や発言を繰り返して、周囲との緊張関係を作りだして、それをもって自国の防衛のために集団的自衛権の行使が必要であるといった論法である。「最高の責任者は私だ」といった発言にもおごりの影が見え隠れする。選挙に勝てば何をやるでもいいという教をどこで学んだのだろうか？ ちろん、この国が抱える課題は山積している。小生のような思考は国益にそぐわないものとして片づけられるのがオチであろう。この情報が届くころには、東日本大震災から3年を迎える。あらためて、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈りし、今まだ避難生活を余儀なくされているたくさんの方々のご心情を察し申し上げる。為政者として何をなすべきか？ 多種多様な価値観が存在している現在、難しいことではあるが、少なくとも困っている自国の国民を救うことが優先順位一位ではなからうか？ 「ぜんぶ○○のせいだ」と途中棄権しないことを心より願う(政)



東日本本部 佐藤正幸書記長



交運共済東北支所 太田博二副本部長



社民党岩手県連合 刈屋秀俊副幹事長



平和環境岩手県センター 阿部哲巳議長代行

来賓の方々も激励・連帯の挨拶

委員会では6人の来賓(阿部一男花巻市議、斎藤憲雄青森市議は1面)からあいさつ(要旨)を受けた。「危険な日本・政治情勢に危惧を感じるのは私だけではないと思う。センターとして地域の中から運動を作り、危険な道にストップをかけるため闘っていきたい。各自自治体選挙にも協力をお願いしたい」(阿部哲巳氏)、「日頃の支援に感謝する。本日の党全国大会で党の再生の取り組みを確認することとなっている。今年各種選挙、来年の統一自治体選挙への協力をお願いしたい」(刈屋秀俊氏)、「恐ろしい世の中になってきています。組織された労働者の闘いが大切な時期になっていきます。頑張りましょう」(太田博二氏) 佐藤東日本本部書記長からは、東日本本部内の情勢と今後の取り組みの報告を受けた。



吉田一久委員 (一関運輸分会)



留場義継委員 (宮古地域分会)

〔前の頁から続く〕 後も続けていきたい。 ◎伊藤淳委員 (盛岡運輸分会) △組織拡大の取り組み、元労働者の牙城の職場で難しいのが現状だが、他分会の取り組みに学び取り組んでいきたい。 ◎小原典昭分会代表 (青森駅連合分会) △エルダー社員8割が希望、職場の拡充を進めてほしい。 △組織拡大 我が分会も全国 ◎吉田一久委員 (一関運輸分会) からFAX・手紙など激励を受けている。元気づけられる。そうした取り組みを強化し連帯を強めよう。 ◎高橋涼特別委員 (貨物協議会代表) △春闘、14年ベアゼロを断ち切りたいと頑張っている。各分会での声もストライキで闘ってほしいとの声が大だ。本部に要請してほしい。

執行部による中間答弁(要旨)

執行部による中間答弁(要旨)は次の通り。 ◎組織拡大は、若い人や心もならずも国労を離れた人も合わせて取り組んでほしい。 ◎運転関係職場、組織拡大は厳しいと思うが、1対1の繋がりなどを大切に取り組んでほしい。 ◎組織拡大の全国への激励行動は、各分会でも取り組んでほしい。 ◎新規採用者への対応は、2月1日の会議の意思統一を実践してほしい。 ◎エルダー社員問題、支社と対応するので具体的な問題を出してほしい。



組織拡大の決意固め実践を 強権的政治を許さず闘おう

北村進氏の議席確保に協力を 4月13日告示、同月20日投票

宮古市議会議員選挙(定数28) 北村進氏の議席確保に協力を 4月13日告示、同月20日投票 地方本部は、2月14日の第5回執行委員会にて4月13日告示、同月20日施行予定の岩手県宮古市議会議員選挙(定数28)に震災の早期復旧を助け、議席の確保を目指し立候補予定する北村進氏(岩手県教職員組合出身・社民党)の推薦を決定した。同市に在住する組合員を中心に当選に向け友人・知人の紹介など展開していく。 【略歴】 1960年 宮古市(旧田老町)生まれ。県立宮古高、拓殖大学卒。 1989年 金ヶ崎第一、中里、田老第一、中沢小学校に勤務(2010年12月退職) 2011年 4月の宮古市議会議員選挙に立候補し当選 ※組合歴、教職員組合下閉伊支部書記長等を務める。

「2014年春闘の取り組みについて」 今春闘は、ベア1万円の引き上げと定期昇給の完全実施、JR東日本に対してプラス3%アップを要求額として確認した。貨物会社の「賃金削減」を許さずベア実施と労働条件の改善、貨物会社が抱える構造問題の解決に向け取り組んでいく。3月7日の「2014年春闘勝利国労東北協議会総決起集会」の成功に向けた取り組みや、地区集会の取り組みも強化していく。 【組織強化・拡大について】 国労の最重要課題ということを全体で確認してきた。どのようにして組織拡大していくのか問われている。仕事以外でも他労組組合員と関わりが持っていない状況。国労組合員が主務職試験に合格し

見習いが付き、さらに国労組合員の子供たちが採用され始めている。自信を持って「国労加入」を訴え、一人ひとりが拡大する決意を固め実践してほしい。地本は、職場・分会集会の派遣要請に応じていく。 【一括和解以降の職場の取り組みと労働条件改善、安全・安定輸送の確立】 会社の労務政策は変化してきた。平成採用者が過半数を占め、技術継承と人材育成が大きな課題となっている。JR北海道の事故では、設備投資の不十分さとデータ管理が指摘された。分割民営化の構造矛盾もあるが、職場の風通しや社員間の意思疎通はどうだったのか、という疑問もある。今後も差別を許さない闘いを取り組み、安心して働ける職場づくりと安全・安定輸送を目指す。「人事・労務管理の業務を行う者の組合員資

格については是正と「新人事・賃金制度」の検証「労働条件に関する労働協約」改定を強化し労働条件改善に向け取り組む。出向社員も多くなる中、エルダー・嘱託社員の諸問題について改善を求める取り組みを強化する。 【公共交通を守る闘いと被災線区の早期復旧に向けた取り組み】 昨年成立した「交通政策基本法」の具体化に向け本部や関係機関と連携し運動を進めたい。気仙沼線・大船渡線はBRTにより運行しているが、地元自治体と住民は鉄路での本復旧を求めている。山田線は、JR東日本が「三陸鉄道」による上下分離方式を提案して

「政治闘争の強化」 安倍政権は、強権的な政治をますます強めようとしている。憲法・民主主義擁護、集団的自衛権行使と武器輸出反対、原発とエネルギー政策の転換、反TPP、雇用と社会保障の拡充などの課題を「フォーラム平和・人権・環境」をはじめ「平和環境岩手県センター」「青森県平和労組会議」や政党・共闘組織・市民団体とも連携し安心して暮らせる社会をめざし取り組んでいく。花巻・青森市議選の組織内候補必勝に向け、全力で取り組んでいく。

確認された当面する闘いの展開

1. 各級機関は、当面する諸課題と取り組みについて集会等を開催し意思統一する。 2. 2014年春闘と労働法改正阻止の取り組みを結び、制度・政策要求の実現に全力をあげ取り組む。 3. 2月12日にJR東日本と

国労の組織強化・拡大にむけ全力で取り組む。 5. 安全・安定輸送の取り組みを各級機関で強化する。また、4月の「ITF国際鉄道統一行動」および4月25日の「国労安全行動日」等を全国統一行動として取り組む。 6. 会社施策導入後の職場実

1. 各級機関は、当面する諸課題と取り組みについて集会等を開催し意思統一する。 2. 2014年春闘と労働法改正阻止の取り組みを結び、制度・政策要求の実現に全力をあげ取り組む。 3. 2月12日にJR東日本と健全な労使関係を確立し、

JR貨物に申し入れした「新賃金要求」等の実現に向け、「3・7国労東北協議会総決起集会」をはじめ職場・地域での闘い、大衆行動などに全力をあげる。 4. JR東日本との正常かつ健全な労使関係を確立し、

国労の組織強化・拡大にむけ全力で取り組む。 5. 安全・安定輸送の取り組みを各級機関で強化する。また、4月の「ITF国際鉄道統一行動」および4月25日の「国労安全行動日」等を全国統一行動として取り組む。 6. 会社施策導入後の職場実

態の検証・点検行動を取り組み、労働条件改善をめざし「1職場1改善要求」・仕事総点検運動」を強化する。 7. 音威子府と帯広の事業体商品購入の取り組みを継続する。 8. 第85回ミーデーの成功にむけて積極的に参加する。

「がん」の保障 <生きるためのがん保険Days(デイズ)> 保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として	100万円
診断給付金	上皮内新生物の場合	一時金として	10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき(上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに1カ月 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき1カ月	10万円 (すべての保険期間を通じ通算600万円まで) 5万円
プレミアムサポート	訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)		

「生きる」を創る。Affac

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在) 生きるためのがん保険Days(デイズ) スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円 定額タイプ 保険料払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

<引受保険会社> アフラック 東京第二法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95

<募集代理店> アベニール株式会社 TEL:03-3437-6810 FAX:03-3437-6822 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

■事務上の問合せ先 盛岡国労会館 TEL:019-652-4841 FAX:019-651-7720 〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通り4-4